

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“許せない東労組の人権蹂躪・三鷹電車区事件!”

「三鷹電車区で何があったのか!」

JR連合は今、シリーズ「検証・浦和電車区事件の真実」をホームページ上で展開しているが、その1年前に浦和電車区よりもひどい東労組による人権蹂躪があった。その被害者・佐藤久雄さんの当時の日記から再現し、すべてのJR東日本社員の皆さんに事実を訴えたい。それは、規律ある職場秩序を確保し、社員がお互いに信頼し合い、安心して働ける職場を築くためである。

第14回 佐藤さんの奮闘日記から グリーンユニオン加入以降 (その3)...

平成11年11月6日 14:30-15:00 この日も私が出勤すると、東労組組合員約30名が待ち受けて玄関前で罵詈雑言を浴びせたと、ロッカー室についてきて更衣中の私に罵声を浴びせました。そのうちの一人(1運転士)は、私のネクタイをつかんで首を締め上げました。また、点呼中にも罵声を浴びせて、点呼を妨害しました。

平成11年11月6日 15時18分頃 私が三鷹駅発車ホームにおいて、乗務引継ぎをする時、引継ぎ者(東労組組合員のS運転士)からいきなり血相を変えて怒鳴りつけられました。S運転士を事情聴取すればわかることとあります。

平成11年11月6日 17時34分頃 私が乗務先の甲府駅ホームで、運転してきた特急「あずさ63号」から降車するのを待ち構え、東労組組合員約10数名が私に罵詈雑言を浴びせながら、甲府運転区まで付きまといました。甲府運転区の助役が一人いましたが、だまって見ただけでした。また、夕食休憩で私が甲府駅食堂に行った時も東労組組合員7数名がついてきて、食事を監視しました。

平成11年11月12日 12:17-13:50 乗務先の甲府駅ホームで私が降車するのを待ち受け、東労組組合員約20名が私に罵詈雑言を浴びせました。この集団は、甲府運転区まで付きまとい、私は恐怖感を覚えてエレベータに乗ることを断念し、庁舎6階の「他区乗務員室」まで徒歩で駆け上がらざるを得ませんでした。また、昼食休憩後、復路の電車に乗る時も東労組組合員20~30名が私に付きまとい、そのうち2名が同じ電車の先頭車両に乗り込み、運転席後方に張り付いて、私に対して「この野郎。こんなところでブレーキかけやがって。ヘタクソ、危ねーな」などと私の運転を妨害しました。彼等の目的は私に事故を起こさせ、組合だけでなく会社まで辞めさせることにあるのかも知れません。乗客の生命・財産を守るべき運転士が、事故を誘発しているのです。

平成11年11月30日~12月1日 私が、真夜中の23時過ぎ、豊田電車区へ最終電車を入区しようとしたところ、4~5人の東労組組合員が待ち構えて、高さ1メートルの入換信号機の前に立ち塞がって、信号確認を妨害されました。入区後、乗務員室へ向かう途中も10数名が待ち伏せ、『裏切り者の私か。手当てを返せ。豊田で眠れると思うな。』と恫喝されましたが、ジグザグ歩きしてやっとの思いで通り抜けました。当然翌日、この事件を運転状況報告に書きましたが、Y当直助役は無言の対応でした。私は計画助役から「運転状況報告書に書くのもいいけど直ちに報告するように」と言われました。10月22日の区長面談で『あなたのお陰で忙しくなったよ』と言われ、報告しにくい雰囲気になったことは事実です。それよりも、安全を預かる運転士が信号を隠すとは、これは単なるイジメではない、往来危険罪、犯罪ではないのかと思いました。(次号に続く)